



かんせいちゅうがっこう

寛政中学校だより

だいごう
第8号

れいわねんがつにち よこはましりつかんせいちゅうがっこう
令和4年12月20日 横浜市立寛政中学校

ゆめ み かなら かな 夢に見られるものは必ず叶う

ふくこうちよう なかい ひろゆき
副校長 中井 博之

カタール・ワールドカップが終わりました。大会前、ドイツ、スペインといったWC優勝経験国と同グループに入り、マスコミを含めて「まあ、なんとかいい試合をしてほしいな〜..」などと疑いの混じった目で自分たちの代表チームを眺めていた日本。世界中のサッカーファンの視線も同様のものであったでしょう。公言していたベスト8進出、という大舞台には届きませんでした。WC優勝経験のある2か国の撃破、さらには前回大会準優勝国・クロアチアと120分で決着つかずの死闘を演じるという信じられない結果を残しました。方や、当の代表選手たちは「100%勝てると思って戦っていた」とサラリと言ってのけ、凡人には想像を絶するこれまでの努力と、三苦選手の「1ミリの差」を諦めずに追い、折り返した結果の決勝ゴールに象徴される試合でのハードワークで、日本国民全員に「夢に見られるものは叶う」ということを身をもって証明し、これ以上ない勇気を与えてくれました。

と言っても、「クリスマスにApple Watchが欲しい」とずっと願ってれば叶うかということ、そういうことではありません。「たくさん昼寝をして、いい夢をいっぱい見よう」といった、のびたくん的な思考も違います。日本代表の活躍は、夢の実現は「それに向かって、どれだけ本気で、誰に何を思われようと自分を信じ、努力し続けることができるか」にかかっている、ということをおしえてくれたのだと思います。

そのカタール・ワールドカップは、1986年に「神様」マラドーナの活躍で優勝して以来の、「神の子」メッシ率いるアルゼンチンの優勝で幕を閉じました。実に2006年のドイツ大会から目指し続けて、幾度の敗戦の涙を経て手にすることのできた念願のトロフィー。「努力し、願ひ続けた夢」がやっと叶ったメッシの表情は、涙ではなく笑顔に溢れていました。

準決勝後の、地元アルゼンチンのテレビ・リポーターからのメッシへの声掛けがひそかな感動を呼びました。「もちろん、私たちアルゼンチン人は皆、優勝を望んでいます。でも、ただ私はどんな結果になっても問題ないことを伝えたい。結果がどうであれ、あなたがアルゼンチンの人々のために戦い、響いたという事実は奪うことはできません。あなたのユニフォームを持っていない子はいません。それが偽物でも本物でも、たとえ作り物でもあっても。あなたは皆の人生に足跡を残した。それは、私にとって、ワールドカップで優勝する以上のものです。誰もあなたからそれを奪うことはできないし、あなたが多くの人にもたらす幸福の量に対して、これが私の感謝です。ありがとう、キャプテン」

誰でも夢を追って頑張りを続けている時は、期待もあるかもしれませんが不安の連続です。しかしその努力し続けている姿に人は心を打たれ、いつしか「自分たちの夢」として応援してしまうのかもしれませんが。そして、そんな応援し続けた気持ちが満たされるのは、必ずしも「結果」ではなく「闘っていた姿そのもの」だということをおし、今回のWCは確かに教えてくれました。

寛政中学校の皆さんの夢は何ですか？三年生であればもうすぐ受験があり、一、二年生であれば週末の部活の公式戦での勝利かもしれません。自分を信じて、努力を続けることができますか？それができていれば、例えば夢が叶わなくとも、周りの人はあなたの頑張りをねぎらい、あなた自身はまた夢を追う人生を歩めます。準優勝に終わったフランスのエムバペの授賞式での姿に、早くも次のWCを見据えているかのような表情が映し出されました。会場に駆け付けた失意のフランスのファンから、初めて盛大な拍手が送られた瞬間でした。

せいとかいやくいんせんきょ ふ かえ 生徒会役員選挙を振り返って

11月30日(水)、次期生徒会役員を決める立会演説会および投票が行われました。この日のために10月から選挙管理委員は何度も集まり、告示・ポスターの作成掲示、立候補受付、選挙当日の運営などの準備を進めてきました。昨年度に引き続き、選挙運動の一環として立候補者と応援者が朝・帰り学習の時間に各クラスで演説を行い、直接生徒たちに自分の考えや生徒会役員として取り組みたいことを伝えました。本番の立会演説会は、3年振りに体育館に全校生徒が集合し、候補者一人ひとりの寛政中学校をより良くしたいという熱意を伝える場となりました。また、応援者のみなさんも仲間のために気持ちが入った演説をしてくれました。それぞれの演説を真剣に聞く生徒の姿が印象的でした。今後、選ばれた7名の本部役員のみなさんの活躍を期待しています。



各クラスをまわった選挙活動では、選管の生徒が司会進行をしました。投票箱や記載台は、実際の選挙で使用されるものを区役所からお借りしました。

せいとかいほんぶやくいん にんきまんりょう むか 生徒会本部役員 任期満了を迎えて

生徒会役員選挙で1・2年生による新役員が決まり、2・3年生の旧役員は任期満了を迎えます。1年間、生徒会本部役員としての活動してきた皆さんのあいさつを紹介します。

せいとかいほんぶやくいん かつどう 生徒会本部役員としての活動 3年

生徒会本部役員では、みんなで協力し合い、様々な取り組みをしてきました。挨拶運動や、Kansei's Treeの制作をはじめとした様々な活動を通して、寛政中学校をよりよくするために一人ひとりが積極的に意見を出して活動してきました。生徒会活動を通して、他の役員や私自身「先頭に立って何かをする」ということの大変さを何度も感じました。しかし、役員同士で支え合いながら活動したことで、やりがいも感じる事ができ、とても良い経験になりました。

生徒会活動で学んだことを、これからもたくさんの方に生かしていきたいです。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



↑ 生徒会本部役員を務めた3年生5名

がつ ぎょうじよてい 1月のおもな行事予定

- | | | | |
|--------------|-----------|--------|------------|
| 1/10(火) | 授業開始、全校集会 | /26(木) | 個別支援級合同学芸会 |
| /11(水)~13(金) | 交通安全週間 | /27(金) | 2年職業講話 |
| /23(月)~25(水) | 1年生スキー教室 | | |